

(2) 会派代表 日本共産党

質問者議員 駄場中 大 介

件名 1 市政の停滞を招いてはならない。

要旨 1 市長の進退について問う。

件名 2 市民の声を第一に。

要旨 1 赤峰グラウンド産業用地化は双方向型の住民説明を。

- (1) 一日も早く新総合スポーツ施設の建設場所と時期を明らかにすべき。
- (2) 地元住民の願いにこたえ、グラウンドゴルフや遊具のある代替え公園を給食センター跡地に。
- (3) 赤峰交差点方面は大型車両の通行規制を。

要旨 2 南花台や赤峰の住民説明会を教訓に、時間的に余裕を持った住民説明を行い、住民の声を取り入れられる市政に。

要旨 3 寺ヶ池公園再編は住民の声をよく聞いて。

- (1) 赤峰野外音楽ステージやBBQ広場の復元・代替えを。
- (2) 周回路の抜本的再舗装を。
- (3) 野球場やテニスコートの大規模改修を。
- (4) プールは烏帽子廃止後の課題となっている小学校低学年が入れるように底上げと幼児用プールの新設を。
- (5) バasketゴールの設置を。
- (6) 噴水広場付近の土地の有効活用と駐車場の整備・拡大を。
- (7) 公園PFIで公園の樹木伐採が全国的に問題になっている。樹木の保全を。

要旨 4 南花台のまちづくりは、住民の声を第一に。

- (1) サッカースタジアムや公園、南花台地区施設一体型小中一貫教育推進校は住民の声をよく聞いて進めよ。
- (2) 指定管理の契約は、これまでの経験に学び、万が一に備えてリスク回避できる契約を。

要旨5 近隣他市と同水準の施策を。

- (1) 避難所にもなる体育館にエアコンの設置を。
- (2) 給食費の無料化を。全国、近隣自治体の状況は。
- (3) 公共施設や小学校のトイレにも生理用品を。
- (4) 通達に従い、会計年度任用職員の不適切な雇用を直ちに改めるべきではないか。
- (5) 国の「こども・子育て支援加速化プラン」で、保育士1人に対し1歳児は5人、4・5歳児は2.5人にする園に運営費加算増額の方針が示されている。当市も準備を。
- (6) 子ども医療費の500円窓口負担は、上限も含めて軽減し無料化を。

要旨6 有機栽培農地の拡大と、オーガニック給食の推進を。

- (1) 有機栽培の意義は。また、SDGsからの視点は。
- (2) 当市の有機栽培の実態と全体に対する有機農地の割合は。
- (3) EUにおける有機農地の目標と、我が国の目標は。また化学農薬や化学肥料の削減目標は。
- (4) 河内長野市の目標は。
- (5) 取り組みに対する国の補助金制度は。
- (6) 有機栽培を農家に安定的に行ってもらう方法は。
- (7) 学校給食での地産地消促進に向けた、市・生産者・教育委員会が話し合うテーブルの進捗は。第4次食育基本計画に位置付けられている「地産地消コーディネーター」へ発展の可能性は。

要旨7 食育の観点を貫いた新給食センターに。

- (1) オーガニック給食の教育的意義と新給食センターで受け入れ態勢の準備について聞く。
- (2) 食器については学校給食法第2条の6の目的に沿ったものにすべきではないか。
- (3) 給食センター長が栄養士や管理栄養士の資格を取得できる仕組みを。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者